



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月5日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東・名
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)保元 道宣
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 財務・経理担当 (氏名)佐藤 修 (TEL)03(4512)1030
 四半期報告書提出予定日 2018年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績(2018年3月1日~2018年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	113,864	△1.3	606	△57.6	1,342	△37.6	1,479	△34.8
2018年2月期第2四半期	115,400	△3.4	1,429	170.0	2,150	86.8	2,269	46.7

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 △684百万円 (-%) 2018年2月期第2四半期 3,491百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	10.47	10.38
2018年2月期第2四半期	15.52	15.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	278,836	161,949	56.8
2018年2月期	278,133	168,152	59.2

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 158,459百万円 2018年2月期 164,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	—	—	24.00	24.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想(2018年3月1日~2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,600	0.2	5,400	4.5	5,550	△6.4	5,500	2.5	39.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年2月期2Q	162,921,669株	2018年2月期	167,921,669株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	22,231,325株	2018年2月期	25,406,796株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年2月期2Q	141,348,509株	2018年2月期2Q	146,269,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2018年3月1日～2018年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の保護主義的な通商政策に端を発する貿易摩擦の懸念などによる世界経済の下振れリスクの高まりや、豪雨、台風、地震などの自然災害が発生するなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当アパレル・ファッション業界では、消費者の購買意識の変化に伴う販売チャネルの多様化およびEコマースへのシフトが進むなか、衣料品に対する節約志向は依然として強く、総じて競争環境は厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは当連結会計年度が最終年度となる中期経営計画の実行に取り組んでおり、基幹ブランドの商品価値向上や顧客サービスの拡充により安定的な収益の拡大をはかるとともに、Eコマースなどの高い収益性と成長が見込める事業を強化するなど、事業の選択と集中を引き続き推進しています。

以上の結果、連結売上高は1,138億64百万円(前年同期比1.3%減)、連結営業利益は6億6百万円(前年同期比57.6%減)、連結経常利益は13億42百万円(前年同期比37.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億79百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。
以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

① アパレル関連事業

国内事業は、百貨店等の衣料品販売が引き続き苦戦しているなか、継続的に資源集中を行っているEコマースの収益は堅調に推移し、また、中核事業会社の株式会社オンワード樫山において「自由区」「ICB」「J.PRESS」などのブランドは増収したものの、「23区」「組曲」などのブランドは前年を下回りました。またグループ会社においてもオンワード商事株式会社、株式会社アイランドなどの主要アパレル関係会社において減収減益となり国内事業全体としても減収減益となりました。

海外事業は、クリエイティブ部門の刷新によるジル・サンダーの売上拡大、中国での収益性回復、および米国でのJ.PRESSの新旗艦店を活用したプロモーションの成功などにより、増収増益となりました。

② ライフスタイル関連事業

当連結会計年度より「その他の事業」を「ライフスタイル関連事業」としており、主にチャコット株式会社、株式会社クリエイティブヨーコ他数社をライフスタイル関連事業にセグメント区分を変更し、非アパレル事業の拡大を図ってまいります。

ライフスタイル関連事業は、チャコット株式会社、株式会社クリエイティブヨーコなどで収益性の改善が見られました。一方、リゾート事業のグアムへの日本人旅行者の減少などにより、全体として減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億2百万円増加し、2,788億36百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ69億5百万円増加し、1,168億86百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ62億3百万円減少し、1,619億49百万円となり、自己資本比率は、56.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の減少、法人税の支払等により9億85百万円の支出(前年同期は54億53百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、売場設備への投資および有形固定資産の取得等により37億5百万円の支出(前年同期は25億29百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増減および配当金の支払いが主なもので51億90百万円の収入(前年同期は20億94百万円の支出)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて1億19百万円増加し、257億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2019年2月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績を踏まえ2018年4月6日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「2019年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,334	25,958
受取手形及び売掛金	25,057	23,074
商品及び製品	36,143	38,076
仕掛品	1,954	2,821
原材料及び貯蔵品	4,881	5,535
その他	11,956	13,178
貸倒引当金	△350	△357
流動資産合計	105,977	108,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,565	30,049
土地	47,005	44,728
その他（純額）	16,143	19,404
有形固定資産合計	93,714	94,182
無形固定資産		
のれん	16,228	14,725
その他	8,284	7,850
無形固定資産合計	24,512	22,575
投資その他の資産		
投資有価証券	30,490	30,811
退職給付に係る資産	3,847	3,987
繰延税金資産	6,971	6,067
その他	12,881	13,172
貸倒引当金	△260	△249
投資その他の資産合計	53,929	53,789
固定資産合計	172,156	170,547
資産合計	278,133	278,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,059	18,636
電子記録債務	14,872	13,250
短期借入金	35,333	47,033
未払法人税等	2,084	1,304
賞与引当金	1,051	1,475
役員賞与引当金	196	85
返品調整引当金	271	244
ポイント引当金	736	696
その他	13,778	12,549
流動負債合計	86,384	95,276
固定負債		
長期借入金	6,818	5,753
退職給付に係る負債	4,141	4,018
役員退職慰労引当金	187	196
その他	12,449	11,642
固定負債合計	23,596	21,610
負債合計	109,981	116,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	115,798	109,250
自己株式	△27,579	△23,556
株主資本合計	168,341	165,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,270	△4
繰延ヘッジ損益	△74	44
土地再評価差額金	△7,864	△8,956
為替換算調整勘定	2,097	651
退職給付に係る調整累計額	838	907
その他の包括利益累計額合計	△3,732	△7,357
新株予約権	729	645
非支配株主持分	2,813	2,845
純資産合計	168,152	161,949
負債純資産合計	278,133	278,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
売上高	115,400	113,864
売上原価	61,665	60,751
売上総利益	53,735	53,113
販売費及び一般管理費	52,305	52,507
営業利益	1,429	606
営業外収益		
受取利息	25	32
受取配当金	138	148
受取地代家賃	578	658
受取補償金	—	253
持分法による投資利益	143	—
その他	551	656
営業外収益合計	1,437	1,749
営業外費用		
支払利息	152	178
賃貸費用	184	281
持分法による投資損失	—	284
その他	378	268
営業外費用合計	716	1,013
経常利益	2,150	1,342
特別利益		
固定資産売却益	3,595	2,251
投資有価証券売却益	—	753
関係会社清算益	663	25
特別利益合計	4,259	3,029
特別損失		
固定資産処分損	16	30
関係会社株式売却損	—	61
減損損失	76	79
事業構造改革費用	213	—
その他	4	—
特別損失合計	310	171
税金等調整前四半期純利益	6,099	4,200
法人税等合計	2,834	2,312
四半期純利益	3,264	1,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	995	408
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,269	1,479

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
四半期純利益	3,264	1,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	△975
繰延ヘッジ損益	△104	118
為替換算調整勘定	△294	△1,401
退職給付に係る調整額	180	68
持分法適用会社に対する持分相当額	137	△383
その他の包括利益合計	226	△2,572
四半期包括利益	3,491	△684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,505	△1,052
非支配株主に係る四半期包括利益	985	368

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,099	4,200
減価償却費	3,020	3,123
減損損失	76	79
のれん償却額	1,260	1,234
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18	1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△150	△139
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	△95
受取利息及び受取配当金	△163	△180
支払利息	152	178
売上債権の増減額(△は増加)	2,941	1,599
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,644	△3,964
仕入債務の増減額(△は減少)	327	△682
その他	△7,751	△5,028
小計	4,172	327
利息及び配当金の受取額	234	265
利息の支払額	△160	△176
法人税等の支払額	△596	△1,408
法人税等の還付額	1,803	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,453	△985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5	△5
定期預金の払戻による収入	5	476
有形固定資産の取得による支出	△4,414	△4,926
有形固定資産の売却による収入	6,125	4,778
投資有価証券の取得による支出	△4,685	△3,976
投資有価証券の売却による収入	551	2,212
差入保証金の差入による支出	△644	△199
差入保証金の回収による収入	1,254	235
長期前払費用の取得による支出	△91	△61
その他	△626	△2,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,529	△3,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,845	13,610
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△22,057	△2,585
自己株式の取得による支出	△830	△1,782
配当金の支払額	△3,511	△3,420
その他	△539	△630
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,094	5,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95	△380
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	734	119
現金及び現金同等物の期首残高	26,023	25,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,757	25,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社グループにおける一部の連結子会社は従来、たな卸資産の評価基準について取得から一定の期間を超える場合には定期的に一定の率に基づき帳簿価額を切下げた価額をもって連結貸借対照表価額としていましたが、物流改革・在庫一元化に伴う在庫管理体制の強化に伴い、単品ごとの在庫期間と販売方法についての網羅的な売上データ収集および分析が可能になった結果、第1四半期連結会計期間から、たな卸資産の公正な評価額をより適切に反映させるために、在庫期間に応じて段階的に帳簿価額を切下げる方法に変更することとしました。

この結果、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の売上原価が537百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業			ライフ スタイル 関連事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(海外)	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	81,204	20,344	101,549	13,851	115,400	—	115,400
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	608	1,267	1,876	1,171	3,048	△3,048	—
計	81,813	21,612	103,425	15,023	118,449	△3,048	115,400
セグメント利益又は損失 (△)	3,451	△1,690	1,760	1,023	2,784	△1,354	1,429

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,354百万円には、のれんの償却額△1,260百万円およびセグメント間取引消去1,998百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,093百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業			ライフ スタイル 関連事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(海外)	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	78,204	22,637	100,841	13,023	113,864	—	113,864
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	695	1,616	2,312	1,039	3,351	△3,351	—
計	78,899	24,253	103,153	14,063	117,216	△3,351	113,864
セグメント利益又は損失 (△)	2,370	△1,615	754	838	1,593	△986	606

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△986百万円には、のれんの償却額△1,234百万円およびセグメント間取引消去2,247百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,998百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメント区分の見直しを行い、報告セグメントを従来の「アパレル関連事業(日本)」「アパレル関連事業(欧州)」「アパレル関連事業(アジア・北米)」「その他の事業」から「アパレル関連事業(日本)」「アパレル関連事業(海外)」「ライフスタイル関連事業」に変更しています。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。